

最新 2025 年 10 月号より抜粋

中華人民共和国成立 76 周年国慶節 中国国交正常化 53 周年 慶祝行事盛大に開催

国慶を祝い盛大な祝宴開催 400 名の内外賓客が一堂に

陳宜華会長国慶・祝宴致辭

趙宝鋼公使の祝宴ごあいさつ

横浜・華僑总会新任会长 陳宜華就任的问候

北京市僑聯 日本歸僑聯誼会来日

華僑華人合唱交流会 in 横浜

陳会長ら 中国大使館表敬 趙公使などに改めて就任の挨拶

廣東要明鶴同協会 高明区唐磊晶区長を迎えて

廣東要明鶴同協会 夏の帰郷（探親）ツアーを実施

横浜華僑婦女会 敬老会を開催

雨が上がり 1000 人がパレード

店々を巡る獅子

後楽寮・清華寮 合同同窓会開催される

国慶ゴルフコンペ 開催

華文教育の「新たな 100 年」を目指して 180

熊貓幼稚園 園外講師を迎える

「チャイナフェスティバル 2025」開催

中華人民共和国 成立 76 周年国慶節

中日国交正常化 53 周年 慶祝行事盛大に開催

国慶を祝い、盛大な祝宴開催 400 名の内外賓客が一堂に

国慶節を翌日に控えた 9 月 30 日午後 6 時、横浜華僑総会は中華人民共和国成立 76 周年と中日国交正常化 53 周年を祝う慶祝宴会を中華街ローズホテル横浜で盛大に開催した。

駐日大使館の趙宝鋼公使、陳巍総領事をはじめとする領事館職員、駐横浜大韓民国総領事館の南相圭副総領事、日本華僑華人聯合総会の陳隆進会長、東京華僑総会の錢江麗子会長、全華聯の張書明会長、在日中国企業協会の王家訓会長ら華僑団体代表、神奈川県議会の谷口かずみ副議長、横浜市議会の田野井一雄議員、松本研議員、福島直子議員、伊波俊之助議員はじめ、中日両国の友好人士、横浜華僑総会を支える友好協力団体の代表、国慶節行事に多大な協力をした企業、法人、団体の代表など、400 名を超える参加者が出席した。

冒頭、陳宜華会長が主催者を代表しあいさつ、その中でここに一堂に会し、中華人民共和国成立 76 周年を共に祝うことを喜び、長年にわたり華僑総会を支援してくださった各界の皆様に、心より歓迎と感謝の意を表した。

また、陳会長は横浜華僑総会は設立以来、常に団結と相互扶助、華僑コミュニティへの奉仕を旨とし、積極的に中華文化を継承・発信し、華僑の心を一つにまとめ、中日両国の交流と友好を促進してきたと指摘し、長年にわたり、祖国、広範な華僑同胞、そして多くの日本の友人たちの関心と支援を賜り横浜華僑総会は発展と成長を続けてこられたと振り返った。

来賓を代表して駐日大使館の趙宝剛公使が祝辞を述べ、横浜市の佐藤広毅副市長（市長代理）が横浜市長のメッセージを代読した。

続いて、一般社団法人廣東同郷会の朱銘江会長が祝辞を述べ乾杯の発声をした。

そして、横浜中華学校校友会国術団のメンバーによる 5 頭の獅子が、銅鑼と太鼓のリズムに乗り華麗な舞いを繰り出し、

舞踊組が民族舞踊を披露した。

和やかに祝宴は進み、午後 8 時前、横浜華僑総会の游群副会長が閉会の辞を述べお開きとなった。

陳宜華會長國慶祝宴致辭

尊敬的中华人民共和国驻日本国大使馆 赵宝钢公使，尊敬的 横滨市副市长 佐藤广毅先生，各位来宾、各位议员、日本朋友，侨胞们：大家晚上好！

今天，我们欢聚一堂，共同庆祝中华人民共和国成立七十六周年。在此，我谨代表横滨华侨总会，向长期以来关心和支持我们的各界朋友表示最热烈的欢迎和最诚挚的谢意！

七十六年来，伟大的祖国走过了不平凡的历程，取得了举世瞩目的成就。这不仅是全体中国人民的骄傲，也是广大海外侨胞的无限欣慰和自豪。

横滨华侨总会自成立以来，始终秉持团结互助、服务侨社的宗旨，积极传承传播中华文化，凝聚侨心侨力，促进中日两国的交流与友好。长期以来，正是因为祖国、广大侨胞与众多日本朋友的关心与支持，爱国热心人士、侨团、企业的慷慨捐助，才让我们横滨华侨总会不断发展和壮大。

中日两国是一衣带水的邻邦，两国人民的友好源远流长。我们坚信，只有加强交流互通，增进理解互信，民心相通，才能推动中日关系长期稳定健康发展。横滨华侨总会愿继续发挥桥梁和纽带作用，为中日友好大业搭建更多平台，贡献绵薄之力。

最后，衷心祝愿伟大的祖国繁荣昌盛、国泰民安！

祝愿中日两国人民世代友好、合作共赢！ 祝愿在座各位身体健康、事业兴旺、阖家幸福！ 谢谢大家！

趙宝鋼公使の祝宴ごあいさつ

(原文中文)

尊敬する陳宜華會長

尊敬する佐藤広毅市長代理

同胞のみなさま、友人のみなさま

本日、私たちはここに集い、中華人民共和国成立 76 周年並びに中日国交正常化 53 周年を共に祝いするため、一堂に会しました。

中華人民共和国駐日本国大使館を代表いたしまして、本日この祝賀会を主催されました横浜華僑総会に、衷心より感謝を申し上げます。また、ご臨席のみなさま、友人のみなさまに、祝日のご挨拶と心からのお慶びを申し述べます。

本年は中華人民共和国成立 76 周年であり、また中国人民抗日戦争・世界反ファシズム戦争勝利 80 周年に当たる記念の年でございます。

76 年におよぶ激動の歲月、76 年におよぶ艱難辛苦の道のりの中で、中国共産党は国内外の中華儿女を団結させ、荒れ野に道を拓く如く刻苦奮闘し、世界が注目する偉大な成果を収めました。中華民族は「立ち上がり」、「豊かになり」、「強くなり」という偉大な飛躍を遂げたものとあります。

このたび、私たちは中国人民抗日戦争並びに世界反ファシズム戦争勝利 80 周年を謹んで記念する行事を執り行いました。その目的は、歴史を銘記し、烈士をしのび、平和を尊び、未来を切り開いてまいりたいとの決意にほかなりません。

中国は断固として平和発展の道を歩み、世界各国の人々と手を携えて人類運命共同体を構築してまいります。自国の発展を通じて各国に新たな機会を提供し、世界により一層の安定性と前向きなエネルギーをもたらす所存であります。

本年はまた、中日国交正常化 53 周年に当たります。53 年前、両国指導者による国交正常化への英断が、半世紀を超える持続的な平和と発展の恵みを両国民にもたらす礎となったのでございます。

中日双方は、国交正常化の初心を堅持し、両国指導者間の重要合意を着実に履行するとともに、中日間の 4 つの政治文書の関連原則と精神を遵守し、歴史を鑑みつつ未来に向かい、中日戦略的互惠関係を全面的に推進し、新時代にふさわしい建設的かつ安定した中日関係を構築してまいるべきであります。

双方の共同努力により、両国関係は改善・発展の積極的な動きを見せております。私たちは、両国の各界交流の強化、

互恵協力の深化、そして国民感情の改善を心より歓迎いたします。

横浜華僑総会は、創立以来、僑胞の結束と共同発展、中華文化の継承、中日友好の促進を使命として、祖国の近代化建設を積極的に支援するとともに、中日の民間友好交流に大きく貢献されてまいりました。

「反国家分裂法」施行 20 周年の節目に、総会は断固たる姿勢で「反『独』促統」を力強く発信し、また「チャイナフェスティバル」をはじめとする友好交流活動に対し、積極的な資金・人的支援を提供してまいりました。

さらに敬老祝賀会、青年成人式、同郷懇親会などを定期的に主催し、広範な僑胞の結束力を強化し、加えて華文教育と中華文化の継承を力強く支援し、横浜山手中華学校からは毎年数百名の優秀な青年が巣立っております。これらはすべて、総会のみなさまの深い家国への想いと強い責任感を鮮明に示すものであります。

大道は砥の如く平らかで、行く者に限りなし。横浜華僑総会には、これからも優れた伝統を受け継ぎ、常に同胞のみなさま、友人のみなさま、中華民族の偉大な復興は歴史の必然であり、同胞のみなさま、友人のみなさま、中華民族の偉大な復興は歴史の必然であり、人類の平和と発展という崇高な事業は必ずや実現するのであります。五千年を超える輝かしい文明を創造してきた中華民族は、新たな時代の新たな旅路において、必ずや新たなより大きな輝きを創出し、人類の平和と発展という崇高な事業に対し、必ずや新たなより大きな貢献を果たすであります。人類の平和と発展という崇高な事業は必ずや実現するのであります。五千年を超える輝かしい文明を創造してきた中華民族は、新たな時代の新たな旅路において、必ずや新たなより大きな輝きを創出し、人類の平和と発展という崇高な事業に対し、必ずや新たなより大きな貢献を果たすであります。祖国と呼吸を共にし運命をともにしながら、祖国の発展と中日友好交流の促進へ、より一層のご貢献を賜りますよう、心より願っております。

中国駐日本国大使館は、常に「人民のための外交」の使命として担い、華僑のためのサービスを着実に実行に移し、在日華僑のみなさまに可能な限りのご支援と便宜を提供してまいります。

同胞のみなさま、友人のみなさま、中華民族の偉大な復興は歴史の必然であり、同胞のみなさま、友人のみなさま、中華民族の偉大な復興は歴史の必然であり、人類の平和と発展という崇高な事業は必ずや実現するのであります。五千年を超える輝かしい文明を創造してきた中華民族は、新たな時代の新たな旅路において、必ずや新たなより大きな輝きを創出し、人類の平和と発展という崇高な事業に対し、必ずや新たなより大きな貢献を果たすであります。人類の平和と発展という崇高な事業は必ずや実現するのであります。五千年を超える輝かしい文明を創造してきた中華民族は、新たな時代の新たな旅路において、必ずや新たなより大きな輝きを創出し、人類の平和と発展という崇高な事業に対し、必ずや新たなより大きな貢献を果たすであります。

最後に、私たち共に偉大な祖国の一層の繁栄と発展、人民の幸せと安寧、世界の平和と安定を心よりお祈り申し上げます。また、ご臨席のみなさま、友人のみなさまのご健勝とご家族のご多幸を心からお祝い申し上げます！ みなさま、誠にありがとうございました！



中国大使館 趙宝鋼公使



壇上で獅子の祝福を受ける右から 神奈川県議会副議長谷口かずふみ、陳宜華会長、趙宝鋼公使、佐藤広毅横浜市副市長、大韓民国南相圭副総領事



国術団舞蹈組による民族舞蹈



廣東同郷会の朱銘江会長による乾杯の発声



閉会の辞を述べる游群副会長

横浜華僑總會新任會長 陳宜華就任的問候：

大家好，我是陳宜華。來日四十年，現在從事食品貿易和批發行業。

這次由第 17 屆理事會選舉，被選為橫濱華僑總會會長。現在華僑總會處在承上啟下，承前啟後，開創未來的歷史的節點上。起初，我常常感到一種無形的重擔壓在心头，讓我舉步維艱，充滿不安與迷惘，甚至有時近乎窒息。但轉念一想，在我身後站着許許多多默默無聞，矜矜業業，幾十年如一日，支持我們華僑總會發展的前輩們，他們雖歷盡艱難，但對愛國的情懷，痴心不改。

這些年我跟隨着，這些寫滿了人生傳奇故事的老華僑前輩們學習了很多。他們的身兼力行，諄諄教導，讓我被一種無形的力量鼓舞着，告訴自己不能辜負他們對我的期望。我要一如既往地勇敢向前。俗話說：“前人栽樹，後人乘涼”，相信橫濱華僑總會，在新老華僑的團結一致，攜手同行下，必將众志成城。

橫濱華僑總會作為日本僑界的佼佼者，我們總結過去的運作經驗，並順應新時代的新格局，適應新發展新局面。保持，凝僑心，聚僑力，匯僑智的傳統，立足橫濱，加強與日本各僑界的橫向聯繫，以及縱向交流。

為了傳承華僑總會光榮的傳統，保持在新時代下可持續性發展，秉持華僑總會，講求民主，強化組織，干實事，出效果的一貫作風。必須壯大自身力量，才能更好的服務於廣大僑民。

《本屆工作重點》

一、組織建設

- 1 成立會則修訂委員會，制定時間表
- 2 推進華僑總會的法人化的調研
- 3 推廣會員資格登記、壯大協力團體， 優化組織架構

二、團結與交流

- 1 搭建新老華僑交流平臺，開展講習 會、慰親會
- 2 深化與在日僑團、中日友好團體及 中國駐日機構合作
- 3 鼓勵青年走向社會與祖國，加強文 化認同
- 4 協助推動中華街經營者教育，營造 良好營商環境
- 5 強化會員服務，傾聽需求，維護合 法權益
- 6 促進祖國和平統一事業

三、會務運營

- 1 制定事務分工、會員管理、財務
- 2 加強宣傳，活用網站、公眾號、視 頻號

四、財政健全與透明

- 1 每兩個月對理事會報告財政收支情 況（包括中華大廈、華聯旅行社）
- 2 成立收益委員會、探索簽證、募捐、 出店等收益渠道
- 3 每期理事會後公布會議記錄
- 4 建立會員反饋機制

結語

橫濱華僑總會的發展，需要新老僑胞團結一致，共同努力。我真诚希望得到大家的支持与，让我们的总会更加团结、和谐、昌盛。衷心祝愿各位身体健康、家庭幸福、事业顺利！

北京市僑聯

日本歸僑聯誼會來日

9月の国慶節イベントに合わせて、北京市僑聯日本歸僑聯誼會（以下「歸僑聯誼會」）の一行（團長：郭強會長）が来日しました。歸僑聯誼會の創立時の會長は横浜山手中華學校第4屆で、中国においてファッションデザインの先驅者であり重鎮である陳富美女史です。今回陳女史の来日はご高齢のためにはいかないでしたが、團長である現會長の郭強氏は陳女史の息子さんです。私は、今年の6月に北京に旅行した際、歸僑聯誼會の張力穎秘書長と張曉潔理事が訪ねて来てくれた縁で、今回二度ほど彼らとお会いすることができました。

一行とはまず、9月21日に開催された東京華僑總會国慶祝賀式典でお会いしました。張秘書長と事前に約束をしてい

たので、東京華僑婦女会の黄恵会長ほかの皆さんをお誘いして、式典終了後に総会近くのレストランで即席の交流会を行いました。ちょうど横浜山手中華学校の卒業生が何人もいたこともあり、一行は帰国華僑の2代目、3代目で直接は知らないものの、先輩方のお名前やお話をよく知っているのと、とても和やかに楽しく盛り上がることができました。

9月27日に横浜山手中華学校の参観と僑界交流が行われたので、一行と再会しました。張岩松校長がスライドを使用して横浜華僑と学校の歴史を説明してくれたのですが、おそらく中国にいる陳女史とはWeChatが何かでつないで一緒に聞いていらしたようで、新中国建設の大志を抱いて帰国した先輩たちの白黒のスライドを見て、張校長が残念ながらお名前まではわかりませんが、と説明すると、陳女史から、これは何届の誰々、と教えてくださって、現代のIT技術と陳女史の瞬発力と記憶力に驚かされるとともに、歴史の記録というのは大切だと感じました。この交流を通して、北京には華僑博物館など、華僑に関わる施設がいくつかあることを知り、機会があればぜひ訪れてみたいと思いました。

(黄 巧玲)



華僑華人合唱交流会 in 横浜

残暑厳しい去る9月14日、横浜山手中華学校体育館にて「第5届 華僑華人合唱交流会 in 横浜」が開催された。

2016年11月、横浜あかいづつ劇場にて発足したこの合唱祭は、コロナ期の休止を経てほぼ2年に一度のペースで開催され、音楽を通してつながり、交流によって研鑽を深めることを目的として活動を行っている。今回も牡丹合唱団を中心に茉莉花女声合唱団、華音・声之旅混声合唱団、日本華僑華人合唱協会合唱団、日本華文教育協会教師合唱団など、五団体による合唱の饗宴となった。

演奏されたのは「城南送別」「在銀色的月光下」など中国の名曲、「大魚」「这世界有那么多人」など現代曲、「夏の終わりのハーモニー」「世界の約束」など日本の合唱曲、「モルダウ」「I will sing with the spirit」など世界の名曲、更には色彩豊かな民族舞踊もまじえての多彩な舞台となった。

最後に、参加団体全員が舞台上に立ち、「大海啊！故郷」と「ふるさと」を大合唱して合唱交流会は幕を閉じた。

なお、今回の交流会は横浜華僑総会、横浜山手中華学校、日本華文教育協会、横浜華僑婦女会の後援を得ての開催となった。

(茉莉花女声合唱団)



陳会長ら 中国大使館表敬 趙公使などに改めて就任の挨拶

9月16日午後、横浜華僑会陳宜華会長は、朱銘江副会長、遊軍副会長、張岩松常務理事（山手中華学校校長）、郭聯輝常務理事、李悦事務局長代理を伴い、中国大使館を訪れ、7月7日に新たに横浜華僑総会会長に就任したことで、新たな執行部が発足したことを報告するため中国大使館を表敬訪問し、趙宝鋼公使、陳巍公使参事官兼総領事、王宝鋒一等書記官兼領事の暖かい出迎えを受けた。

これに応え、陳会長も祖国政府と駐日大使館が我々華僑華人に常に気を配り、多くの便宜を図り協力を惜しまず、助けてくれたことに対し感謝を述べた。

また、張岩松校長は中華学校の現状を伝え、中国大使館の引き続きの応援を要請した。



廣東要明鶴同郷会 高明区唐磊晶区長を迎えて

9月25日（木）、廣東省佛山市高明区から唐磊晶区長を団長とする代表団が来浜しました。初めに横浜山手中華学校を訪れ、校内見学と繆理事長、羅副校長による学校の成り立ちや教育内容の説明を受けた後、本会会館を来訪し、施設見学と理事による歓迎を受けました。一行はその後、横浜中華街・関帝廟を視察しました。

視察後、本会による歓迎宴会が大珍楼において開かれ、林偉珊副会長の開会挨拶に始まり、唐区長の来賓あいさつや高明区紹介映像の上映、夏東開名誉会長の乾杯などが行われました。唐区長はあいさつの中で、教育はとても重要であり、本会会員を含む多くの華僑による学校への大きな貢献が今回の訪問によってわかり、大変感銘を受けたと述べました。その後は和やかに会食と懇親が進み、お互い今後もお互いに行き来をしましょうと盛り上がりました。

（廣東要明鶴同郷会）

広東要明鶴同郷会 夏の帰郷（探親）ツアーを実施

2025年8月10日から14日まで、広東要明鶴同郷会は陸会長を団長とした、会員や家族総勢47名による「夏

の帰郷ツアー」を実施しました。参加者は帰郷活動に加え、高明区を中心に周辺の名所を巡り、会員同士の交流も楽しみました。

1 日目午後、高明到着後、明城鎮を訪問。鎮長はじめ、高明僑聯主席、更に探親旅行で毎回お世話になる僑聯 O B の黎文東さんなど多くの方が迎えてくれました。僑胞之家（僑胞の家）の施設内では、同郷会の先人たちの写真や中華街で活躍されている様子など、昔からの資料が第一回の探親団から時系列で展示され、団員たちにとって貴重な歴史を感じる機会となりました。僑胞の家は明城鎮のシンボル、文昌塔の前に憩いや観光の場として昔の街並みを模してつくられた東門圩の中にあり、東門圩内の様々な施設を見学後、文昌塔で記念写真を撮りました。その後、高明港に隣接する丘にそびえ立つ高明のマリナタワー、霊亀塔のある霊亀公園を観光し、夕食は乳猪、焼鵝、アワビ、蒸魚などが並ぶ豪華ディナーを楽しみました。

2 日目は佛山の名所、祖廟を観光。黄飛鴻が発展させた南方獅子舞のすばらしい演舞も堪能しました。祖廟の向いには、古い家並みをそのままに、洒落たカフェやブティック、お土産さんなどが並んだ嶺南天地という街並みがあり、時間の都合上駆け足の観光になったのですが、女性陣からはそちらをもっとじっくり見たかったという声もありました。午後には広東の歴史や文化をテーマにした千古情ショーを鑑賞し、参加者からは「とてもよかった」との声が上がりました。夕食は佛山市高明区政府内の迎賓館にて高明区政府の招待を受け、高明区長、統戦部長も臨席され交流をさらに深めました。区長は最初の挨拶の中で、譚樹釗さん、謝義清さんの名前を出され、要明鶴同郷会の大先輩方の故郷への貢献に感謝の意を表しました。また、この歓迎宴では高明の特産である葛粉を使った料理や、地元西江のエビ、高明の伝統家庭料理の瀬粉などをいただきました。

3 日目はお隣の肇慶市を訪れ、鼎湖山や七星岩を観光しました。向かう途中で、高速道路内のドライブインを体験。お店が何軒もあってキレイなドライブインに驚きました。肇慶の名物はチマキで、一年中様々な種類のチマキが店頭に並んでいます。夜には、日本ではなかなか味わえない羊の丸焼き（3 頭）など羊づくしコースを味わいました。

4 日目、探親・帰郷活動と荷城鎮の市場・海天調味料の工場見学に分かれてそれぞれが楽しんだ後、順徳に向かい、世界最大の牌樓門がある順峰山公園観光を行いました。暑さによる疲労を考慮し、観光は入口付近で打ち切り、ホテルチェックイン後にホテル前にある華僑城ショッピングモールで各々買い物を楽しみました。

5 日目には、各自で残る数名の団員を除き、無事に帰国しました。一人も病人が出ずに皆さん笑顔で帰国できたことに、幹事一同安堵しました。今回のツアーでは、佛山市高明区僑聯の協力により、当初帰郷（探親）予定がなかった参加会員と家族も故郷や先祖の家に足を運ぶことができ、参加者にとって貴重な機会となりました。また、高明区の文化や歴史、さらに要明鶴同郷会ならではの特別メニューの数々が並ぶ豪華な食事など、参加者の思い出に残る体験となりました。

（広東要明鶴同郷会）



横浜華僑婦女会 敬老会を開催

横浜華僑婦女会は9月15日（月・祝）正午より婦人会館3階にて敬老会を開催した。当日はお天気にも恵まれ、会館には総勢41名の会員が集まり、多年にわたり社会に尽力してきた会員の長寿を祝福し、健康を願う盛大で華やかな会となった。

黄巧玲会長のあいさつ後は、長寿祝いの対象者が紹介された。今回の対象者は、102歳1名、90歳（卒寿）および90代5名、80歳（傘寿）が7名。会場はあたたかい拍手と笑顔でいっぱいになった。会員たちが3日もかけて仕込んだお弁当は、たくさんの愛情が込められ、美味しさに箸が進んだ。6月に発足したばかりの合唱班が潘蘭英さんの指揮で初お披露目してくれた歌は「听我说谢谢你」「手のひらを太陽に」「我和我的祖国」の3曲。美しいハーモニーを聴かせていただいた。最後は恒例となった磯一加さん指導による経絡体操。元気な笑い声で会はお開きとなった。これからも皆さんご健康で明るく元気にお過ごし下さるようお祈りしたい。（林絵津子）



雨が上がり1000人がパレード

10月1日（水）前日から続く土砂降りの雨にパレード実施が危ぶまれていたが、集合時間の午前11時に雨が上がり、出発会場の中華街小公園には続々と参加者が集合した。正午、沿道で大勢の観客が迎える中をパレードは賑やかに出発した。



パレード出発前にあいさつする 中国大使館 趙宝鋼公使



五星紅旗を高々と掲げ、先頭を行く儀仗隊



民族衣装隊



中華学校中学部 龍舞

店々を巡る獅子

10月1日夕刻、観光客で賑わう中華街の各店舗を5隊に分かれた獅子が巡り、採青を行い、百福臨門、商売繁盛、五穀豊穡を願った。



採青 獅子舞



採青終了後 5隊の獅子隊が山下町公園に集合

後楽寮・清華寮

合同同窓会 開催される

10月5日、かつて1960年代後半から1970年にかけて東京都文京区の後楽寮と清華寮に在籍し、善隣学生会館に巣食う「ニセ日中友好協会」、「華青闘」と戦い、勝利した元寮生が横浜に集い同窓会を開催し旧交をあたためた。参加者は北は札幌から南は熊本の出身で、関東地方の元寮生はすでに2年前から仲間の林秀雄君と陳洋宋さんが経営する千駄ヶ谷のカフェ「泥人形」で集いを持ち、また、ラインでの交流を通じ各地の元寮生と近況を伝え合っているなかで「もう一度会おうよ」と話が進み、当日は日本各地から33名が元寮生の楊義誠君と陳桂春さんが迎える横浜の伊勢佐木町の中国料理店「龍鳳」に集合した。

退寮後50年ぶりに会う懐かしい顔ぶれも交え、広東料理を堪能しながら若き日の奮闘に花を咲かせた。

その後、東京のJR大森駅東口前の代表幹事の凌克君の息子さんの凌優君が経営する開店したてのピザレストラン「サルーテ」に一部参加者を入れ替えて移動し、石窯で焼かれたピザを味わいながら忘れがたい格別に楽しい一食を共有した。



国慶ゴルフコンペ 開催

10月8日（水）福利部は国慶節関連行事として恒例のゴルフコンペを開催した、今回は過去最多となる参加者数で15組60名がCPGカントリークラブに集まり熱戦を繰り広げた。

前日までの雨予報が見事に変わり終日青空の下ラウンドを楽しみ、親交を深めた。

大会は新ベリア方式で行われ施嘉成さんが優勝、ベストグロス賞には陳芬芳さんが輝いた。



華文教育の「新たな100年」を目指して 180

第42回 校友聯歡会開催

8月23日（土）、毎年恒例の横浜中華学校校友会主催による第42回校友聯歡会が盛大に開催された。来場者は総勢1,000人を超え、校友生をはじめ、母校中華学園の生徒・児童、家長や学校関係者など、多くの方々にご参加いただいた。

文芸プログラムでは、中華学校の生徒によるダブルダッチ部・民謡楽器・武術、さらに獅子舞や舞踊が披露され、若さと活気あふれる舞台で観客を魅了しました。さらに校友会国術団も出演し、獅子舞や舞踊で力強く迫力ある演技を披露、会場を大いに沸かせました。そしてフィナーレを飾った夜光龍の登場では、観客の歓声や応援に包まれ、会場全体がひとつになった。

模擬店ブースでは、横浜山手中華学校家長会によるたくさんの食品の販売提供、熊貓幼稚園家長会による子供が楽しめるゲームコーナー、横浜華僑婦女会による美味しい家庭料理の販売提供、そして校友会によるドリンクの販売が行われ、来場者の交流の場として賑わいを見せた。

また、横浜山手中華学校 張校長と校友会 安齊会長より挨拶があり、校友会を代表して母校へ30万円の寄付金が贈呈されました。この寄付金は、母校の教育活動や環境整備に役立てていただく予定です。

例年に劣らぬ賑わいを見せた会場は、最後の大抽選会でさらに盛り上がり、大盛況のうちに閉会した。

最後に、聯歡会にご来場いただきました皆様、そして開催にあたりご協力いただいた横浜山手中華学園・横浜山手中華学校家長会・熊貓幼稚園家長会・横浜華僑婦女会、ならびに物品協賛をいただいた中国貿易公司・協和物産の方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。（校友会）

熊貓幼稚園 園外講師を迎える

9月5日、横浜市道路局交通安全教室の講師が熊貓幼稚園を訪れ、子どもたちに交通安全の大切さや簡単な交通ルールについて、人形やゲームを使いながら生き生きとわかりやすく話をした。

また、9月12日にはJALのスタッフが熊貓幼稚園を訪れ、年中・年長組の子どもたちに紙飛行機の折り方を実演した。子どもたちは、細かいところを見逃すのではないかと心配しながら、目を見開いて実演を聞いていた。最後には、自分たちで折った紙飛行機を投げて、誰の飛行機がより高く、より遠くまで飛べるかを競うゲームも行った。この体験を通して、子どもたちは心に小さな航空への夢を残した。（熊貓幼稚園）

「チャイナフェスティバル
2025」開催

中国大使館などが主催する「チャイナフェスティバル2025」は、9月6日、7日に、東京の代々木公園イベント広場で開催された。これは中国の文化、食、音楽、観光、経済の五感で楽しむイベントで、開会式と、閉会式には横浜華僑総会から陳宜華会長が出席し交流を深めた。両日にわたり、約160のブースの出展があり、中国の文芸などが披露され、多数の来場者が身近に中国文化に触れ合った。